

## 2021年 第1号 ご挨拶

2021年が始まりました。現代医療により延命措置を受けていた人が、COVID-19によりその命を奪われるという状況が起きています。そのため、私たちの移動が大きく制限されています。人類は進化し、環境適応することで生き残ってきました。今回のウイルス（見えざる敵）への挑戦も、きっと乗り越えられることでしょう。2021年は、中国の第14次5カ年計画の初年度であり、社会主義現代化建設の第4段階（2021年～35年、近代化）の初年度という区切りの年でもあります。中国は巨大な市場規模と国内需要の潜在力という強みを生かして、国内の大きな循環を主体としつつ、国内と国外の2つの循環が相互に促進しあう「双循環」という新たな発展局面に入っています。新たなグローバル化を考える中で、日本にとって中国は巨大な隣国として重要な国です。世界の20%の人口を有する意味で、人類にとっても無視しえないのが中国です。中国は、外国企業及び外国人を排除するのではなく、共存を大事に考えています。日本企業も中国を重要な市場ととらえ、引き続き中国でのより良い企業市民として貢献していくことを応援していきたいと考えています。

KPMG 中国 GJP 中国総代表 高部 一郎

## 1. 2021年 中国マクロ経済の10大動向

2020年はコロナに始まりコロナに翻弄された1年でした。年初は、中国湖北省武漢市で発生した新型コロナウイルス感染症が世界中で話題となり、中国は春節期間にロックダウンを実行し、多くの外国人が中国国外に一時退去するなど中国の将来を危ぶむ声が聞かれました。その後、新型コロナウイルス感染症の猛威は世界中に広がりました。しかしながら中国は、徹底した水際対策と中国国内を細分化した居住単位毎にロックダウンを実行し、経済活動の回復を第一優先として対策を実行しました。2020年を振り返ってみると、双循環の観点からは中国ではむしろ対外貿易が期待を上回り、対外投資が期待を上回るという2つの「予想超過」があったと考えられます。

> [全文はこちら](#)（日本語）

## 2. ニューノーマルにおける経営者の役割

日本企業の多くは、コロナ禍以前からいくつかの弱みを抱えていました。①国際競争力の低下、②低いモチベーション、③あいまいな業務分担と生産性の低い中間管理職の存在、④進まないDX（デジタルトランスフォーメーション）。これら4

つは with コロナの「非接触時代」になってますます対策が困難な課題となっています。KPMG は、これからのニューノーマルの時代に求められるであろう経営者の役割を 4 つに整理しました。①会社の存在意義の明確化、②個の活用、③暗黙知の活用、④自発的成長組織への変換です。

> [全文はこちら](#) (日本語)

### 3. グローバル企業が対応すべきコンプライアンステーマとは

新型コロナウイルスの感染拡大により、グローバル企業が対応すべきコンプライアンス（法令順守）のテーマも変容しつつあり、特に、ESG（環境・社会・ガバナンス）や SDGs（持続可能な開発目標）への対応、米中関係の緊迫化に関連する規制対応、海外業務のモニタリングの対応の 3 つが重要と考えます。日本企業は国内優先で、海外子会社・関連会社のコンプライアンスリスクまで十分に対応できていないケースが散見されます。リスクの影響度や低減策の機能状況などを踏まえて、優先順位を付けて対応を進めなければ、大きな損失にもつながりかねません。

> [全文はこちら](#) (日本語)

### <ご参考> COVID-19 対応に関する情報提供

こちらのサイトに関連情報を掲載しております。

- 携手战“疫” (中国語) [資料はこちら](#)
- Business Continuity Insights (英語) [資料はこちら](#)
- 新型コロナウイルスがビジネスに与える影響 (KPMG ジャパンサイト) [資料はこちら](#)

Wechat でも日々情報発信をしておりますので、是非ご登録頂けると幸いです。



### Contact us お問い合わせ先

GJP China Markets: [gjpmarkets.china@kpmg.com](mailto:gjpmarkets.china@kpmg.com)

Tel: [+86 \(21\) 2212 2247](tel:+862122122247) (日本語)